

東日新聞（六月九日）で、紹介されました。

いざ！？という時にあわてないために、子どもたち、家庭、地域、学校が一体となって…



災害想定し地域と学校一体

岩西小で防災訓練 起震車体験も

豊橋

起震車を体験する子どもたち（岩西小学校で）

豊橋市西口町の市立岩西小学校で8

日、学校と地域が一体となって避難の仕方を体験する防災訓練が開催された。全校児童約500人と保護者、地域住民ら

が参加した。子どもたちは教室で命の大切さについて考える道徳の授業を受けたり、校庭や

特別教室で防災体験をしたりした。

地震の揺れを実感できる起震車の体験では、関係者が「南海トラフ地震はこの後30年の間に70%の確率で起こると言われている。地震の揺れを体験するだけでなく、これをきっかけに家族と対策について話し

合って」と呼びかけていた。

体験した6年生の伊藤沙和さんは「大きな揺れで椅子ごと動いてしまい、倒れそうだった。地震について家族で話し合いたい」と感想を述べた。

地域住民に呼びかけ、災害を想定した学校への避難訓練も実施した。夏目裕介校長は「地域全体に呼びかけての防災訓練。いい経験になってくれれば」と話した。

（大林恭子）